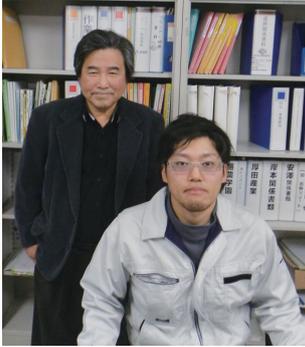


厚田里山再生の会(石狩市)

「里山の再生」を目指して

(地域環境保全タイプ活動報告)



報告者／
藤田宏司さん
井川慎吾さん

藤田 厚田里山再生の会の事務局長の藤田でございます。まず概要について説明致します。

団体が出来たのは平成25年7月、交付金の説明を受けてすぐ活動組織を立ち上げました。コンセプトは、自然と触れ合える森づくりです。里山の再生と言いましても、昔は楢木や薪をとったり、馬の放牧地に使っていましたが、それを再現して現代に合うのかという疑問があり、里山を作るのであれば自然に触れ合える森づくりが必要だ、という考えで会を立ち上げました。厚田地域は、札幌から近いので山菜取りの方はよく来られますが、一般市民がなかなか森の中へ入っていけないという現状です。里山に葡萄があったり、自然が奥まで見え森林浴が出来る、そんな森林づくりを目指しています。会員は現時点で30名です。構成は地域住民が半数、その他大学の教授や医者、航空写真家など様々な分野の方が参加しています。山の仕事、刈り払い機やチェーンソーなどを使ったこともないという人が多かったのですが、活動していくうちに、自然を楽しみながら様々な仕事に取り組むようになりました。活動地域は、最初の年は厚田地域、翌年から浜益を加え26ヘクタールです。そこは個人の方から無償で提供頂きました。元々ここは里山地域です。活動組織の場所はこのくらいで、荒廃した山という事です。これ(写真1)を見て分かるように、ものすごく蔓があり、人が入れない状態

です。これでもきのこ採りなどで、入ってくる方もいらっしゃいます。

井川 厚田里山再生の会で主に草刈りやチェーンソーで木を切っております、井川と申します。取り組みの内容について説明させていただきます。

当組織は主に、雑草木の刈り払い・除去・枝打ち、また風倒木や枯損木の除去、経路または作業道の作設といった事をやっております。その結果、森林機能の回復と安全に自由に散策できる環境づくりを行っております。また、今年度は鳥の巣箱設置という事で、こちらは全て手作りで作ったものです。また作業道と経路は笹や根を切り、歩きやすく、怪我をしないような経路を作っております。また、小屋を設置し、機材管理をしています。そして森林環境教育の一環としてイベントを4回ほど開催しました。第1回目は、八戸耀生氏を講師に、カメラを搭載した小型無人ヘリ「ファントム」による航空写真の撮影会を行いました。こちら(写真2)が、活動している厚田地域の航空写真です。経路があり、小屋が設置されており、休憩場所としても利用しています。第2回目は、地元の指導林家の八木沼久さんを講師に、鈴木巖さんに協力を頂き、楢木を作成して、菌を作る所から始め植え付け・栽培する、というイベントを開催しました。第3回目は、ヒグマの研究家であります岩井基樹氏に、ヒグマに出会った際の対処法や、ヒグマの生態系について学ぶという、ヒグマ対策講習会を開催しました。こちらの可愛い犬は「ベアドッグ」といって、熊を追い払ったり威嚇する犬です。第4回目は、厚田の医師の田口晶氏に、主にスズメバチに刺された時のアナフィラキシーショックが起きた際に使う注射器の使用方法について教えていただきました。このようなイベントを開催したことで、森林に対する危険性や安全対策を学んだり、実際にきのこの楢木を作るなど、資源を利用した貴重な体験も出来ました。来年度もまた、楢木を作ったり、白樺



写真 1

の樹皮を使った鞆づくりなど様々なイベントを開催しようと企画しております。

取り組みの成果として、雑草木・風倒木・枯損木を除去したことで、活動範囲を広く見渡せるようになりました。作業道・経路を開設したことで安全に活動ができ、作業効率も向上しました。当組織は、山の作業の未経験者が多く、作業経験者からチェーンソーや刈り払い機の使用方法を教わり、技術の習得に取り組んでいます。

課題として、浜益区毘砂別地区は、岩や石で足場が悪く、太めの笹が生えていて山林作業経験者でも難儀な場所です。ここでの活動は限られたメンバーでの活動になっていますが、来年度は、技術をさらに向上させて人員確保や、安全に作業できるように路網や経路の確保を行っていきたいと思います。

最後になりますが、厚田里山再生の会は会員を募集中です。また、森林環境教育のイベントは自由に参加できます。当組織で作業してみたい、興味のある方は厚田里山再生の会まで気軽にお問い合わせください。

〈質疑〉

質問1 小屋を建てているそうですが、交付金でま

かなわれるのでしょうか。

藤田 外見は立派に見えますが、簡易な建物で、会員みんなで建てたので、対象になっています。

質問2 タイプは地域環境保全と森林空間利用の2つですか。

藤田 「資源利用タイプ」も利用し、全てのタイプを使っています。

質問3 3つの交付金の対象になるのでしょうか。

藤田 26ヘクタールのうち、「空間利用タイプ」は全てにかかっていますが、「環境保全タイプ」と「資源利用タイプ」は地域分けして行っております。雑草木が強い、笹刈が必要な場所は「資源利用タイプ」や「環境保全タイプ」、改善された場合は「資源利用タイプ」としてイベントを開催しております。



写真 2